

2026年度 東洋英和女学院大学「出張授業一覧」

専門領域	授業名	授業概要	授業に必要な機材
1 心理学	心理学入門「心理学で何がわかるか、何ができるか」	大学で学ぶ「心理学」とはどのような学問なのでしょうか。「こころ」を研究するとはどういうことなのか、授業では心理学で心や人間について何がわかるのか、どのようなことに役立つのかわかりやすく説明します。	PC/プロ/スクリーン
2 心理学	心はどこまで読めるのか？「ウソ発見」と心とからだの心理学	「ウソ発見器」は本当に嘘を見破れるのでしょうか。心の科学である心理学の研究方法について見ていながら、実験のデモンストレーションを通してその一つ、心と身体の間接な関係について紹介していきます。	PC/プロ/スクリーン
3 心理学	不安に打ち勝つ心の仕組み	日常生活の中で、誰しもが不安や恐怖を体験します。人はその不安をどのように克服しているのでしょうか？不安が不安なわけを心理学の分野からお話をし、こころの働きを学びます。	PC/プロ/スクリーン
4 臨床心理学	心理学入門あるいは臨床心理学入門	心理学入門：身近な現象を心理学で解説します。ミニ実験を通じて、体験的に学んでみましょう。 臨床心理学入門：カウンセラーの仕事や、プレイセラピーの世界を臨床心理学の諸分野とともに解説します。人数・授業時間にもよりますが、描画体験を通じて、「私」のこころの世界に触れてみましょう。	PC/プロ/スクリーン
5 臨床心理学	「ポップ・カルチャーの深層心理」入門	ファッションや音楽、映像からちよつとした生活習慣まで、私たちにとって身近なポップカルチャーは「文化現象」であり、時代を反映する「流行現象」です。この素材をつかって、こころの深層を理解するための心理学を学びます。そして、アーティストたちが「自分らしさ」をもっているように、みなさんの「自分の感じ方」にもミニ実習を通じてであってみましょう。	PC/プロ/スクリーン
6 臨床心理学	夢イメージと心	人は誰でも自分のことがわかっていてわからないものです。その自分を知る手がかりの一つが夜に見る夢です。不思議な夢や不快な夢、それは何を示しているのでしょうか。夢を「私の物語」として理解してみると、どんな世界が見えてくるでしょうか。一緒に夢に飛び込んでみましょう。また、同様に、こころの物語として、アニメ映画を臨床心理学的に読み解いてみると、どんな世界が広がるでしょうか。一緒に旅してみましょう。	PC/プロ/スクリーン
7 臨床心理学	思いやりと共感の科学	「人の気持ちがわかる」「人の身になる」「思いやる」「共感する」ということが、他人同士で可能なのか、可能だとしたらなぜ可能なのか、どこまで可能なのか、共感力を高めるためにはどうすれば良いのか、を、脳とこころのしくみから考えます。	PC/プロ/スクリーン
8 臨床心理学	こころに寄り添うカウンセラーの仕事	カウンセラーの仕事は、人の話を聞く仕事です。とくに「傾聴」、そして「受容」が根幹です。苦しんでいる人の話に傾聴し受容することは「こころに寄り添う」ために必要なことです。でも、「こころに寄り添う」ことは簡単なことではありません。どのようにしているのでしょうか。カウンセラーのこころについてお話します。	PC/プロ/スクリーン
9 臨床心理学	カウンセラーの仕事	公認心理師・臨床心理士の仕事の実態を学びます。主要5領域で心理職はどんな働きをしているのか、子どもの心理支援(プレイセラピー・箱庭療法)についても具体的に触れます。「こんなところにもカウンセラーが？」と驚くかもしれません。様々なタイプのカウンセラーの仕事に共通する「カウンセリング・マインド」の理論についても学びます。	PC/プロ/スクリーン
10 発達心理学	子どもの心の世界	「星の王子さま」を題材にして、王子さまがキツネと出会ったり、バラの花を思い出しながら、自分の存在の小ささを知り、そして「人を愛せる喜び」を知る過程をたどります。少しずつ王子さまの心が成長していく姿を読み解きながら、子どもならではの「世界の捉え方」と、様々なタイプのおとなの「世界の捉え方」の違いや、「愛すること」の本質などにお話を広げていければ、と考えます。	PC/プロ/スクリーン
11 発達心理学	他者の「心」との出会い	「心」とは目には見えないので、他者の心(感情、意図、欲求など)を理解することは、本当は難しいことなのです。しかし、実は、乳児の時から、他者の感情を感じ取り、通じ合う能力が既に発達しています。さて、目には見えないのに、どうして「心」と「心」は通じ合うのでしょうか。そのためには、何が必要なのでしょうか。目には見えない「心」との出会いについて、お話をいたします。	PC/プロ/スクリーン
12 教育学	人間の「学び」を考えるー「勉強」する理由とは何かー	人間にとって「教える」「学ぶ」とはどのような営みなのか、教育学の視点から読み解きます。なぜ学校へ行くのか、勉強する理由は何か、高校と大学の「学び」の違いは何か、などなど。皆さんが教室で出会う「当たり前」について考えてみましょう。	PC/プロ/スクリーン
13 教育学	社会的・職業的自立に必要な資質・能力とは何だろう	今日、みなさんが経験している進路学習行事・キャリア教育行事は「何のため」に行っているのでしょうか。実は進路指導やキャリア教育には、学問的な基盤があるのです。高等学校での進路指導をキャリア発達の観点から眺めてみると、進路選択には多様な意味があることに気付きます。教育学、心理学、経営学、それぞれのアプローチから自分の進路やキャリアを考えてみましょう。	PC/プロ/スクリーン
14 教育学	「教育学」と「教員養成」の関係とは	みなさんの中には、広く「人の学びや成長」に関心がある人も多いと思います。こうした「人の学びや成長」あるいは「生き方」を多面的にアプローチしながら考えるのが教育学です。また、将来は「教師になりたい」という気持ちを漠然と持っている人もいます。この授業では、そうした教育学と教員養成(教師になること)との関係について学んでみましょう。特に「中学校・高等学校の教員になること」に焦点を当てます。	PC/プロ/スクリーン
15 社会学	調査データを読もうー数学を使わない社会調査入門	内閣支持率や平均貯蓄額、大学の偏差値から幸福度ランキングに至るまで、世の中には「知っているようで知らないデータ」があふれています。この授業では、たくさん事例紹介とディスカッションを通して、報道や生活の中で触れる調査データを読み解くスキル(リサーチ・リテラシー)を身につけていきます。数学が苦手でも大丈夫！	PC/プロ/スクリーン
16 社会学、家族社会学、ジェンダー論	「ジェンダー」とは何か～性別について社会的に考える	現代においては、社会的な性差である「ジェンダー」について、様々な問題やトピックスが注目されています。しかしそもそも「ジェンダー」とは何でしょうか？それは「生物学的な性別」とどう違うのでしょうか？「ジェンダー」とは、どのような局面で問題になるのでしょうか？	PC/プロ/スクリーン
17 社会学、家族社会学、ジェンダー論	「当たり前」は「不思議なこと」～身近な家族から考える「社会」の問題	「家族」とは、多くの人にとって、非常に身近でプライベートな体験です。しかしこの身近でプライベートな「家族」というものは、実は私たちを取り巻いているもっと大きな社会的な文脈と、非常に深くつながっているものでもあります。この授業では、家族社会学の視点から、現代日本社会における様々な家族問題を考えていきます。それを通じて、「物の見方を増やす」「当たり前を相対化する」という社会学の面白さを、ぜひ体験してほしいと思います。	PC/プロ/スクリーン

専門領域	授業名	授業概要	授業に必要な機材
18 社会心理学	心理学からみた対人コミュニケーション	日常生活の中で周りの人とのコミュニケーションにつまずいた経験は、誰もが持っていると思います。相手に誤解されたり、意図していないことが伝わってしまったり、自分が伝えようとしたことが、いつもうまく伝わるとは限りません。コミュニケーションのつまずきは、なぜ起こるのでしょうか。心理学の視点からコミュニケーションの仕組みを解説し、円滑なコミュニケーションのためにどのようなスキルが必要なのかを考えます。	PC/プロ/スクリーン
19 社会心理学	アサーションー多様性を目指す自己表現ー	みなさんには、相手から嫌われたくなくて本心を言えなかったという経験はないでしょうか？嫌われたくないという気持ちは、自己表現を妨げることがあります。日常生活には自己表現の機会がたくさんあります。自己表現には人前で自分の意見を発表するだけでなく、何かを貸して欲しいとお願いしたり、依頼を断ったりすることも含まれます。この授業では、アサーションという相手も自分も尊重した自己表現について解説します。	PC/プロ/スクリーン
20 宗教学、宗教史学	宗教の歴史を考える	人類の進化の過程で、今日「宗教」として私たちが理解している文化的・社会的現象が生まれたと考えられています。そこで言われる「宗教」とはどのようなものであり、それは人類の歴史のなかでどのような展開をしてきたのかを、この授業では振り返ります。そのうえで、現代世界における「宗教」の状況について、簡単に展望してみたいと思います。	PC/プロ/スクリーン
21 情報デザイン	身近な私生活に存在する情報デザイン	私たちが街を歩いていると見かける看板や広告のポスター、電子掲示板や案内表記などなど、あまり日頃は意識しないけれども当たり前にある情報がたくさんあります。それらは、それら情報をみる相手に自然な形で提供したい情報を提示してくれています。この授業では私生活に存在する多くの情報と、それに付随するデザインを考えながら、情報デザインという学問を知ってもらいたいと思います。	PC/プロ/スクリーン
22 図書館情報学、教育学	読書と図書館ー実りある生涯学習に向けてー	実りある生涯学習の実現に向けて、読書と図書館の意義について考えます。どうしたら楽しく読書できるか、図書館をどのように活用したら生涯学習が充実するのかなど、これからの生涯学習社会を生きていくためのヒントにつながります。	PC/プロ/スクリーン
23 第二言語習得研究	映画から学ぶ第二言語習得の諸相	皆さんは外国語の習得を目指すとき、具体的にどのような学習法を思い浮かべるでしょうか。外国語学習は単語や文法、音声の知識・技能の習得だけではなく、身につけた知識や技能を「いつどのように使うか」ということも大切です。第二言語習得研究の視点からそれをどのようにとらえるのか、洋画（英語）を使って実際に体験しながら学んでみましょう。	PC/プロ/スクリーン
24 哲学、倫理学、思想史	身体を生きる・世界を生きる	江戸時代のひとたちは、わたしたちがいま歩くのと同じように歩いてはいませんでした。わたしたちは自分の身体を「自然なもの」と思っていますが、実は「歴史的なもの」「社会的なもの」でもあるのです。そのことに気づくとき、「自分の身体を生きる」という当たり前のことが、新しい姿を見せてくれるようになります。それはいったいどういうことなのでしょうか。みなさんと一緒に考えてみたいと思います。	PC/プロ/スクリーン
25 哲学、倫理学、思想史	「コミュカ」は「身体力」	「コミュニケーションの力がある」ってどういうことでしょうか？自分の思っていること、考えていることを、「ことば」にしてうまく伝えられることでしょうか？たしかにそれもあるでしょう。でも「コミュニケーション」の鍵は、「ことば」を操る能力だけではなく、むしろそれ以上に、「身体の知性」ともいべきものが大切な役割を果たしています。「身体『頭のよさ』」——その意味と意義について考えてみます。	PC/プロ/スクリーン
26 健康医療心理学	健康づくりに役立てる心理学	健康づくりは単に病気をなくすことではなく、その人らしい生き生きとした人生の実現を目指すものです。たとえ病気や障害があっても、誰もが互いに助け合う社会のネットワークとつながり、生きがいを感じて地域で暮らすために役立つ心理学の実践について、医療機関や地域ひきこもり支援センターなど様々な領域で活躍する公認心理師の職務を中心に紹介します。	PC/プロ/スクリーン
27 メディア学	「表現の自由」について考える	「何でも自由というのは良くない？」「ある程度はルールを決めるべき？」自由に情報を発信できる社会に生きているからこそ、いま一度、民主主義社会の軸である「表現の自由」について考えてみましょう。そして「表現の自由」がない社会を想像してみましょう。	PC/プロ/スクリーン
28 メディア学	「メディアに踊らされない」は可能！？	私たちは「メディア」を通じて社会を知ります。でも、メディアを通じて知る社会って、リアルな社会と同じものなのでしょうか。メディアの影響を受けずに生きていくことって可能なのでしょうか。メディアが私たちの知識や社会に与える絶大な影響力について考えていきましょう。	PC/プロ/スクリーン
29 メディア学	ネット&スマホの“つながり”とは？ーメディア利用の心理学ー	やっぱり対面コミュニケーションが一番？SNSは世界をつなぐ？ネットで知る「社会」って？心理学が明らかにしてきたことを紹介しながら、ネット&スマホが生み出す“つながり”の実体を読み解いていきます。	PC/プロ/スクリーン
30 保育とソーシャルワーク		子どもは、家庭や地域の中で、笑顔で元気に成長していくのが理想です。しかし、必ずしも安心して毎日を送ることができる子どもばかりではありません。この授業では、最近の話題を取り上げて、子どもを取り巻く問題について、皆さんと一緒に考えてみたいと思います。	PC/プロ/スクリーン
31 幼児教育と表現		子どもたちに寄り添い、表現する喜びや発見の驚きに共感する心を備えた支援者として、その子どもなりの表現を可能にする技術への導き方や、遊びへの展開など、基礎的な学びを体験します。	PC/プロ/スクリーン
32 保育・幼児教育とは		専門的に保育を学ぶことは「生きることそのもの」について考えることにつながっていきます。保育とは、どのような営みなのでしょうか。保育者とは、どのような職業なのでしょうか。学んでみましょう。	PC/プロ/スクリーン
33 幼児教育と実技		幼児期は一つひとつの出来事を心から楽しみ、新しい世界を発見し、広げていくときです。色々なことを試したり、挑戦したりする幼児を常に支え、援助していけるように、保育者は様々な技能を身に付けていかねばなりません。保育学生の学びである実技を実際に体験してみましょう。	PC/プロ/スクリーン
34 Speaking English with Preschoolers		In this class, activities for preschool-aged children using easy English are practiced by singing songs, playing action games, and reading children's picture books.	PC/プロ/スクリーン
35 子どもとアート		子どものアートや表現ワークショップ等を映像で見ながら、子ども自身が表現の主人公であり、かつ対話的な表現のあり方について、一緒に考えませんか。	PC/プロ/スクリーン

	専門領域	授業名	授業概要	授業に必要な機材
36	世界の子ども教育		世界の各地域に生きる子どもたちは、どのような歴史的文化的背景をもつ社会で、どんな教育を受けているのでしょうか。世界各地の子どもたちの姿から、子どもの幸せ、人の幸せについて考えてみたいと思います。	PC/プロ/スクリーン
37	政治学、国際関係	国連の機能とその限界	イラクやシリアの紛争、ミャンマーのクーデター後の混乱、イスラエルとパレスチナの紛争など最近だけでも惨事が起っています。世界の平和と安全の維持という崇高な理想を掲げる国連の安全保障理事会の役割は絶大ですが、なぜ理想的な役割を果たせないのでしょうか。具体例を使って説明します。	不要
38	政治学、国際関係	SDGsにはなぜ政治分野が入ったか	SDGs（持続可能な開発目標）には17のゴールと169のターゲットがあります。そのうちゴール16は、一つだけ政治分野をカバーする特別なゴールです。2015年のSDGsの可決直前まで国連で勤務した経験をもとに、ゴール16が入った経緯とその意味を説明します。	不要
39	政治学、国際関係	平和共同体としてのASEAN	発足当初、すぐに失敗し瓦解するだろうと考えられていたASEANは2022年に設立55周年を迎えました。失敗するどころか、ASEANは地域協力機構の成功例の1つとして捉えられています。実際、創設以来、ASEAN諸国間で戦争が起きたことはなく、その事実からASEANは平和共同体と言っても良いでしょう。ASEANがいかに平和を維持してきたのか、その仕組みと現在の課題を解説します。	PC/プロ/スクリーン
40	国際協力	世界で活躍する人になるには	激動する世界の最前線で働くとはどういうことでしょうか。どうすれば世界で活躍できるでしょうか。高校時代に準備できることはあるでしょうか。ニューヨークの国連開発計画本部で勤務経験がある教員が、世界で活躍するための秘訣と心構えを語ります。	不要
41	経済学	行動デザインの力を知る	行動経済学は、みなさんが無意識に観たり感じたりしているゆがみ（バイアス）を実験から知り、人びとの行動のデザインに役立てます。例えば、米国のオーケストラの女性演奏家はかつて約5%でしたが、現在ではおよそ35%です。これは、オーディションで姿を観ず演奏だけをカーテン越しに聴くことで実現しました。視覚的判断は、音楽への評価にも大きく影響を及ぼしていたのです。行動経済学の世界をご紹介しますと思います。	PC/プロ/スクリーン
42	経済学	ビジネスコンテストに応募しよう！	現実に企業や自治体が抱えている課題に取り組む「ビジネスコンテスト」のプチ体験をしてみませんか。実際に本学の学生がチャレンジしている課題を、一緒に考えましょう。データの見方、マーケティングや市場分析の方法を取り入れ体験します。	PC/プロ/スクリーン
43	経済学	ビジネス事例で学ぶ データサイエンス入門	チョコレートマーケティング、携帯市場のCM分析など実際のビジネス事例をもとに、データサイエンスの入門授業を行います。本学大学生2年時から3年時レベルの学生の発表資料もお見せしながら、大学での分析と高校での「情報」授業の接続をします。事前打ち合わせでカスタマイズいたします。	PC/プロ/スクリーン
44	経済学	ゲームで体験！国際貿易	国別チームに分かれて、割り振られた「資源」や為替レートや価格をもとに「生産」活動を行って、「貿易」体験してもらい、貿易収支の高さを競うゲームです。各チームには、生産を行うために必要な「資源」を「貿易」しなければ得られないように設定してあります。「生産」は、紙とはさみで実際に手を動かすので、経済活動が実感できます。（20人以上が望ましい）	PC/プロ/スクリーン
45	国際協力	開発協力のパートナーとは？	かつて「開発援助」と呼ばれていた時代、国際協力は「援助する国とされる国」という関係で展開されていました。しかし、今日の「開発協力」は「開発パートナー」という関係性の上で進められています。何が変わり、何が変わっていないのか、具体的に考えてみましょう。	PC/プロ/スクリーン
46	地域研究	アフリカ大陸に暮らす人びととその社会	今日のアフリカをみる視角としては、国境で区切られた領域ではなく、大陸のひろがりを意識するとともに、国家や政府ではなく人、とくに女性や子どもにも注目することが求められています。こうした眼差しで、アフリカ社会が直面している問題を考えます。	PC/プロ/スクリーン
47	社会学	多文化共生を考える	グローバル化が進んだ現代では、生まれた国とは違う国や地域で暮らす人々がたくさんいます。日本にも、様々な言語・文化を持つ人々が数多く暮らしています。日本社会は、こうした多様な背景を持つ人々にとって暮らしやすい社会となっているのでしょうか。そもそも、「日本人」って、だれのことなのでしょう？「多文化共生」について、色々な視点から考えていきます。	PC/プロ/スクリーン
48	歴史学、地域研究	アメリカ合衆国大統領は「支配者」なのか	トランプ大統領が就任した2025年1月以降、大統領の発言をめぐって連日さまざまな情報が出てきます。アメリカ合衆国大統領は政治システムの中でどのような立ち位置にあるのでしょうか。あまり報道されませんが、大統領は実は結構手足を縛られているのです。そのあたりを合衆国憲法から読み解きます。	PC/プロ/スクリーン
49	歴史学、地域研究	歴史は暗記じゃない——史料をもとに考える	歴史といえは暗記科目というイメージが強いですが、しかし大学の歴史授業はちょっと違います。史料をもとに考える機会が増えるのです。ここではアメリカの黒人奴隷を解放することになった「奴隷解放宣言」（1863年）を読み、リンカン大統領の一般的なイメージを再考していきます。	PC/プロ/スクリーン/ または無くても可能
50	日本文化	現代の物語と古代神話	神話は私たちの心の奥底にある世界観を表す物語です。そこにある世界についての考え方は、現代の様々な物語の中にも実は受け継がれています。なかでも古代神話に深く根を下ろしていると考えられるのが、宮崎駿監督です。彼のアニメーション映画の場面を、神話や伝統的な民間信仰との関わりから読み解いてみます。	DVD/スクリーン
51	宗教学	航空業界が提供する宗教食に見られる国際的多様性	航空業界は、様々な文化を背景とする多国籍のお客様に食事のサービスを必要とするため、イスラーム、ユダヤ、ヒンドゥー、ジャイナ教徒専用のメニューを用意しています。授業では、各宗教食の違いを比較することで、それぞれの宗教が持っているルールの違いを学びます。イスラームは鶏肉ソーセージ、ユダヤ教では魚がメイン、ジャイナ教はヴィーガン食、ヒンドゥー教は豆カレーが多いなど、身近な食から国際的多様性を知ります。	PC/プロ/スクリーン
52	宗教学	仏教とキリスト教	手塚治虫『火の鳥 異形編』を視聴します。この作品では仏教の真理が主題になっていますが、「火の鳥」の存在は、永遠の命を与える慈愛に満ちたキリスト教の神をモデルとしています。アニメを見てから、仏教とキリスト教の特徴を比較したいと思います。	PC/プロ/スクリーン
53	国際コミュニケーション	見えない「文化」とコミュニケーション	異文化間コミュニケーションを学ぶためには、まず「文化」と「コミュニケーション」の関係を理解することが重要です。本講義では、普段は意識されない「文化」と、人間の社会生活に不可欠な「コミュニケーション」に着目し、それらがどのように結びついているのかを考えます。	PC/プロ/スクリーン

	専門領域	授業名	授業概要	授業に必要な機材
54	国際コミュニケーション	多文化協働から学ぶ、これからのコミュニケーション	日本の職場は、多様なルーツをもつ人々が共に働く場へと変化しています。本講義では、「言葉の壁」を超え、背景にある社会的文脈や認識の「ズレ」に注目し、コミュニケーションの視点から考えます。また、人を無意識に国籍などで一括りにしてしまう「社会的カテゴリー化」の仕組みとその影響についても学びます。こうした理解を通して、多様な人が共に働く職場における相互理解のあり方を探究します。	PC/プロ/スクリーン
55	国際コミュニケーション	外国語としての日本語、外国としての日本	留学や仕事等で日本に移り住む海外の人々は年々増加し、日本語学習者の数も増えています。それにともない、日本語を教える日本語教師の需要も高まっています。日本語がべらべらな私達であれば、誰でも簡単に日本語を教えることができるのでしょうか。この授業では日本語や日本を海外の視点から見る練習をします。	PC/プロ/スクリーン
56	英語	「英語“を”学ぶ」と「英語“で”学ぶ」	CLIL（内容と言語を統合した学習）を用いて、「英語“を”学ぶ」と「英語“で”学ぶ」の両方に焦点を当てます。前者は、アウトプットを重視して、四技能のスキルに特化した言語そのものを学び、後者は、社会や国際社会の重要課題（男女機会均等、グローバル化、情報社会など）を英語で学びます。	PC/プロ/スクリーン
57	英語	英語はひとつじゃない—世界に広がる“さまざまな英語”—	英語には「正しいひとつの形」があると思いませんか。実際には、英語は国や地域、人によってさまざまな形で使われており、その背景には歴史や社会、文化の違いがあります。本講義では、英語の歴史や多様な使用例、さらには言葉以外のコミュニケーションにも目を向けながら、「英語とは何か」を広い視点から考えます。普段とは少し異なる角度から英語を見つめることで、その奥深さと面白さに触れていきます。	PC/プロ/スクリーン
58	英語	英語文学の原書を読むことの意義	150年以上も前に書かれたのに、いまでも大勢の人を惹きつける <i>Alice's Adventures in Wonderland</i> (Lewis Carroll, 1865)。日本では『不思議の国のアリス』として知られるこの作品は、翻訳が難しいことで知られています。それはなぜかという点、この作品には言葉遊びがたくさん含まれているからです。この授業では、そんな『不思議の国のアリス』の一部を原文で読み、英語文学の原書を読むことの意義について考えます。この作品が文学史上どのような意味を持つものかについても学びます。	PC/プロ/スクリーン